

**K. INTERNATIONAL SCHOOL TOKYO**



# ADMISSIONS HANDBOOK

2012 – 2013

(2011年10月 – 2012年9月まで有効)



Copyright © 2011 K. International School Tokyo

## K.インターナショナルスクール(KIST)に興味をお持ちいただき、ありがとうございます。

当校は男女共学・無宗教の国際学校として 1997 年に設立、2000 年 7 月には東京都より学校法人の認定を取得し、現在幼稚園から 12 年生(高校 3 年生)まで、約 570 名の生徒をお預かりさせて頂いております。

現在約 45 カ国からの子供が通う KIST では、各国の教育制度から独立した世界に通用する国際的なカリキュラムである国際バカロレア(International Baccalaureate:IB)のプログラムを採用しています。IB では、世界各国の大学入学資格となるディプロマ・プログラム(Diploma Programme:DP)、中等課程プログラム(Middle Years Programme:MYP)、初等課程プログラム(Primary Years Programme:PYP)の 3 歳から 19 歳までをカバーする包括的な 3 つの教育プログラムを提供しています。2011 年 9 月現在、IB プログラム実施校は、141 カ国 3306 校であり、世界中で約 96 万 9 千人が IB のカリキュラムの下で学んでいます。\*

現在 KIST はこの 3 つの教育プログラム全ての認定を受けた、東京地区で唯一の学校です。そのメリットは、3 歳から高校卒業まで一貫した体系化された 3 つのプログラムによって年齢層に合わせた教育手法を用い、必要なスキルや知識や態度を身につけて行くことができることで、成功へと導かれることです。

特に 16 歳～19 歳を対象に大学入学資格を付与するディプロマプログラムでは、多くの科目でディスカッション形式の授業が行われ、レポートの提出が頻繁に要求されます。また、科目以外にも研究調査を基にした Extended Essay(課題論文)、哲学的な思考を求める Theory of Knowledge(知識の理論)、社会性を養うための Creativity, Action, Service(創造性・活動・奉仕)といった修了要件があり、非常に高い知的思考が求められます。

このような高度な教育内容のため、アメリカの大学ではディプロマで取得した点数によって、入学後に単位の認定を得ることもめずらしくありません。

KIST では 2006 年に 1 回目の卒業生を送り出しました。その後の卒業生たちは優秀な成績をおさめ、欧米や日本の主要な大学に合格、進学致しました。第 5 期生となる 2010 年度卒業生は、アメリカのスタンフォード大学や IVY リーグのプリンストン大学やペンシルバニア大学等から 100%学費免除の奨学金を付与され合格致しました。また、イギリスのインペリアルカレッジロンドンやキングスカレッジロンドン、日本では国際基督教大学(ICU)や上智大学、その他中国の香港大学等に合格致しました。第 6 期生となる 2011 年度卒業生は、アメリカのシカゴ大学、カリフォルニア工科大学、ボストン大学(4 年間学費全額免除)、イギリスのロンドンスクールオブエコノミクス、セントアンドリュース大学、リーズ大学、ヨーク大学、日本の早稲田大学等、世界のトップ大学に合格しています。

KIST の特色の一つであるまじめに勉強に取り組み、かつボランティア精神に溢れる生徒が多いということが、他の生徒の向上において有益であり、更に良い結果に結びついていると確信しています。学ぶ環境、心を育む環境の維持向上は、当校の重要な柱となります。そのため、当校の生徒であるということは高い期待値が要求されることであり、生徒自身の努力と親からの十分なサポートが必要となります。

学校選びは保護者の皆さんにとって最も大切なことです。勿論、当校がどなたにでも合うということはありません。どの学校もさまざまな特徴を持っていますので、良くお調べ頂き、家族の価値観にあったお子さんにとって最適な学校選びいただきたいと思います。

K.インターナショナルスクール東京

\* <http://www.ibo.org/facts/fastfacts/>

## K. International School Tokyo

1-5-15 Shirakawa, Koto-ku, Tokyo, Japan 135-0021  
Tel: 03-3642-9993 (English); 03-3642-9992 (Japanese) / Fax: 03-3642-9994  
E-mail: [info@kist.ed.jp](mailto:info@kist.ed.jp) / Web: [www.kist.ed.jp](http://www.kist.ed.jp)

# 目次

はじめに	1
<b>Section 1: 入学および出願資格</b>	
1.01: KIST とは？	1
1.02: 入学	1
1.03: 学年度と授業時間	1
1.04: 年齢資格	2
1.05: 要求される言語力	2
1.06: その他の必要条件	3
1.07: 在校生の兄弟姉妹の入学	3
1.08: 再入学申請	3
1.09: 短期入学	3
1.10: 進級	3
1.11: 進学	3
1.12: ウエイティングリスト	4
<b>Section 2: 出願方法</b>	
2.01: 選考の手順	4
2.02: 主な入学時期とその出願期間	5
2.03: その他の入学時期とその出願時期	5
2.04: 日本語を話す入学希望者の出願手続	5
2.05: 空席状況	6
2.06: 出願資格	6
2.07: 願書提出	7
2.08: 入学選考	7
2.09: インタビューおよび入学試験	8
<b>Section 3: 合否決定および入学時期延期</b>	
3.01: 合否の通知	9
3.02: 合否区分	9
3.03: 合格受理	9
3.04: 入学時期の延期	10
3.05: 入学後の再審査	10
3.06: 言語再試験の申し込み	11
3.07: 入学試験再受験	11
<b>Section 4: 仮入学（海外在住受験者のみ）</b>	
4.01: 仮入学	11
4.02: 仮入学の出願資格	11
4.03: 出願方法	11
4.04: 選考と合否の通知	11
<b>Section 5: 生徒サポート</b>	
5.01: 言語サポート	12
5.02: スペシャルニーズのサポート	13
5.03: 慣らし保育(K1の生徒のみ)	13
<b>Section 6: 保護者</b>	
6.01: 保護者のサポート	14
6.02: スクールサポートプログラム(SSP)	14
6.03: 保護者の関わる学校行事など	15
<b>Section 7: 学費</b>	
7.01: 2012-2013 授業料	16
7.02: 支払オプション	17
7.03: その他の費用	17
7.04: 授業料に含まれているその他のサービス	18
7.05: 支払い遅滞のペナルティ	18
7.06: 授業料の割引	19
7.07: 返金規定	19

## はじめに

KIST への入学に興味をお持ちいただきありがとうございます。生徒に可能な限り最善の教育環境を提供するために、当校では入学に関してこのハンドブックに示すような基本方針と手順を定めています。願書をご提出になる前に、あなたが当校について、またその目指すものおよび展望についてご理解頂くことが大切です。願書提出にあたり、このスクールハンドブックと別冊の KIST スクールハンドブックをお読み下さい。願書の提出はあなたが両ハンドブックを読み、述べられている当スクールのポリシーと手続きに従うことに同意したことを示します。

## Section 1: 入学および出願資格

### 1.01: KIST とは?

K インターナショナルスクール東京 (KIST) は 1997 年に創立された、特定の宗教を基盤としない、普通教育を提供する幼稚園から高校までの私立男女共学のインターナショナルスクールです。生徒が大人になった時の準備をするために、KIST は伝統的な価値観、トレーニングにより確立された指導方法、健康的なライフスタイルを通して、学問的向上を促進する骨組みの中で、安全で思いやりのある環境を作り上げることを目標とし、努力しています。学校生活の全ての面は 3 つの指導方針である、'尊敬・責任・安全' の上に成り立っています。在校中、全ての生徒は制服を着用することで、学校の服装の決まりに従い、きちんとした身なりを維持することが求められます。また、学校の名に恥じない適切な行動を取らなくてはなりません。KIST の生徒は卒業後も「生涯学ぶ」ということに対して、高い向上心と願望を持っています。また、彼らは自分たちより助けを必要としている人を助けたいという気持ちを示して、行動を起こすことで世界を変えられると信じています。

インターナショナルスクールとして KIST は私たちのビジョン、ミッション、教育哲学、そして学習プログラムに強く同意頂ける国際的な心を持ったご家族の子弟を歓迎します。KIST は以下の子供たちを主な対象としています。

- 日本に住む日本人でない子供
- 多重国籍の子供
- 帰国子女あるいは将来英語圏に住むことを計画している子供
- 国際的な教育を受けられる大学などの高等教育機関に入学を計画しているあらゆる国籍の子供

当校のカリキュラムはすべて、国際バカロレア (IB) に準拠しています。K1 から G5 はプライマリー・イヤー・プログラム (PYP)、G6 から G10 はミドル・イヤー・プログラム (MYP)、G11 から G12 は、ディプロマ・プログラム (DP) に基づいています。IB プログラムについての詳細は、国際バカロレア機構のウェブサイト <http://www.ibo.org> をご覧ください。

### 1.02: 入学

KIST では人種、国籍、民族、宗教、性別、社会的経済的背景にかかわらず、あらゆるお子さんの入学の出願を受け付けています。ただし、専門家がおりませんので、特別教育が必要なお子さんの願書は受け付けておりません。

真に国際的な学校を維持するために、当校ではあらゆる国籍を持つ生徒を受け入れています。現在 KIST には約 45 カ国の国籍約 570 人の生徒が在籍し、その国籍比率は、イギリス、アメリカ、カナダ、オセアニア 24%、日本 25%、ヨーロッパ・アフリカ・中近東・南米 13%、インド 13%、アジア諸国 25%、となっています。各クラスおよび学年で国籍のバランスを考慮し、生徒の多様性を維持しています。また多重国籍の生徒も非常に高い割合を占めています。

多様性を推進するために、各クラスでの生徒の国籍のバランスをとるよう努めています。また、各学年での生徒の英語の能力のバランスを考慮し、国籍や言語 (母語) グループの多様性を確保すると同時に、学校内での指導言語としての英語のポジションを崩さないようにしています。また、各クラスでの男女比率のバランスにも考慮しています。その他、入学選考にあたって考慮する諸要件については願書提出の項目 (セクション 2.08) を参照下さい。

KIST に出願される前に、以下の質問についてよくお考えになることをお勧めします。

- なぜあなたは自分のお子さんをインターナショナルスクールに行かせたいのか?
- あなたは、お子さんをインターナショナルスクールに通わせる必要があるのか?
- なぜあなたは、インターナショナルバカロレアプログラムに興味をもっているのか?
- あなたは、KIST のミッションとポリシー (KIST スクールハンドブック参照) に同意しているのか?

### 1.03: 学年度と授業時間

KIST の学年度は 8 月下旬に始まり 6 月末に終わります。学習プログラムや成績表は 2 学期制 (セメスター) をとっています。

- セメスター 1: 8 月から 1 月
- セメスター 2: 2 月から 6 月

授業時間は以下のとおりです。

学年	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
K1, K2	9:30 <sup>1</sup> – 3:20	9:30 <sup>1</sup> – 2:10	9:30 <sup>1</sup> – 3:20	9:30 <sup>1</sup> – 2:10	9:30 <sup>1</sup> – 3:20
K3	8:30 – 3:20	8:30 – 2:10	8:30 – 3:20	8:30 – 2:10	8:30 – 3:20
Grades 1 – 5	8:30 – 3:20	8:30 – 3:20 <sup>2</sup>	8:30 – 3:20	8:30 – 3:20	8:30 – 3:20
Grades 6 – 12	8:30 – 3:20	8:30 – 3:20 <sup>2</sup>	8:30 – 3:20	8:30 – 3:20	8:30 – 3:20

- 1 K1 と K2 の生徒は 8:30 a.m に登校してもかまいません。監督の教員もしくは教員アシスタントがいます。  
 2 短縮火曜日は全校生徒が 2:10 p.m. に下校します。短縮火曜日はスクールカレンダーに明記されています。

#### 1.04: 年齢資格

KIST では 8 月 31 日を区切りとして各学年の年齢設定をしており、入学希望者は 8 月 31 日までに以下の表にある通り希望する学年の年齢に達している必要があります。K1 から K3 に入学希望の生徒は入学日までにトイレトレーニングを完了していなければなりません。以下の表を見てお子さんの適格学年を決めて下さい。

年齢資格早見表(2012-2013)					
学校区分	学年		年齢		誕生日
エレメンタリースクール (幼児教育)	K1 <sup>1</sup>	お子さんは	3	8 月 31 日 までに左 記の年齢 に達してい なければ なりません。	2008 年 9 月 1 日 – 2009 年 8 月 31 日
	K2		4		2007 年 9 月 1 日 – 2008 年 8 月 31 日
	K3		5		2006 年 9 月 1 日 – 2007 年 8 月 31 日
エレメンタリースクール	Grade 1		6		2005 年 9 月 1 日 – 2006 年 8 月 31 日
	Grade 2		7		2004 年 9 月 1 日 – 2005 年 8 月 31 日
	Grade 3		8		2003 年 9 月 1 日 – 2004 年 8 月 31 日
	Grade 4		9		2002 年 9 月 1 日 – 2003 年 8 月 31 日
	Grade 5		10		2001 年 9 月 1 日 – 2002 年 8 月 31 日
セカンダリースクール	Grade 6		11		2000 年 9 月 1 日 – 2001 年 8 月 31 日
	Grade 7		12		1999 年 9 月 1 日 – 2000 年 8 月 31 日
	Grade 8		13		1998 年 9 月 1 日 – 1999 年 8 月 31 日
	Grade 9		14		1997 年 9 月 1 日 – 1998 年 8 月 31 日
	Grade 10		15		1996 年 9 月 1 日 – 1997 年 8 月 31 日
	Grade 11 <sup>2</sup>	16	1995 年 9 月 1 日 – 1996 年 8 月 31 日		
	Grade 12 <sup>3</sup>	17	1994 年 9 月 1 日 – 1995 年 8 月 31 日		

1 K1 の入学希望者は 8 月 31 日までに満 3 歳になっている必要があります。

2 11 年生への編入は 9 月 30 日まで受け付けます。

3 IB ディプロマ・プログラム履修の関係上、12 年生への編入はできません。

子供は同年齢の他の子供たちと交流するのがベストであるという思いから、学校としては上記の誕生日に基づく適格年齢のグループを可能な限り維持したいと考えています。K1 についてはいかなる理由があっても年齢に達していない生徒の入学は認めません。K2 と K3 については、特別な理由がある場合は、誕生日が規定期間を多少前後する場合でも例外的にその学年への出願を認めることはありますが、生徒の観察、前の学校での学習経験内容や先生の推薦状などを考慮し、学年を決定します。通常の入学手続きの他に観察や試験が課せられることがあります。(セクション 2.09)

G1 から G10 までについては、前の学校での成績、学校に通った年数、学力レベルによって最高 1 年まで生徒の適格年齢の上あるいは下のグレードへの願書提出を考慮することがあります。そのような場合はその理由を願書に書き、証拠となる文書を添付して下さい。英語能力に限られるという理由での下の学年への出願は通常認められません。

セカンダリースクール G11 には、適格年齢より 3 歳を上回る年齢に達している入学希望者は出願できません。

適格年齢でない入学希望者については保護者の方との話し合いを通して慎重に検討させて頂きますが、学校がお子様の学習の向上に有害であると判断したり、教員や同じクラスの他の生徒にとって不適切であると考えた場合は要望にお応えできないことがあります。

#### 1.05: 要求される言語力

KIST はいろいろな国のさまざまな文化的背景を持つ生徒で構成されています。このことは生徒がいろいろな違った言語を話すことを物語っています。生徒が一つの言語を媒体として一緒に学べるように当校は指導言語として英語を選びました。しかし、KIST は英語学校ではありません。保護者の皆様がお子さんに英語を学ばせることが主な理由で学校を選んだら、KIST のプログラムは適切ではありません。教室で英語が使われていますが、当校は外国語として英語を教えていません。幼少の子供を除き、入学にあたり生徒はすでに一定の英語レベルに到達していなければなりません。非常にまれにはありますが、特別な必要性がある場合は英語力が低い生徒の願書を受け付ける場合があります。しかし、セカンダリースクールに出願する生徒には英語で専門科目を学ぶため、高いレベルの英語力が求められます。特に、コース学習上の

特質から、G10とG11ではサポートのレベルによって言語サポートの必要な生徒の入学をお断りすることがあります。

### 1.06: その他の必要条件

KISTには寄宿設備はありません。住まいは各ご家庭でご手配下さい。ホストファミリーのご紹介も出来ません。また、関係政府当局にビザを申請するのは個々のご家族の責任です。ご依頼により、KISTは費用を支払った生徒にビザ申請にあたり在学証明書(有料)を発行します。しかしながら、それ以上のお手伝い(ご家族がお子さんを日本に連れてくるお手伝いなど)はできません。ビザの発行まで学校を長期間欠席すると学習に支障をきたしますので、必ず余裕を持って事前にビザを取得してください。また、きちんとした手続きをとって健康保険を掛けることをお勧めします。これもまた、各ご家庭の責任となります。

お子さんが両親と離れ、保護者あるいはホストファミリーと日本で暮らす場合は、保護者あるいはホストファミリーはスクールの管理部門スタッフのインタビューを受けなければなりません。これは、お子さんの日本での生活準備状況やKISTの提供するプログラムの学習についてお子さんが十分にサポートを受けられるかを確認するためです。また、両親と離れて暮らす生徒は出願の際にビザのコピーを提出しなければなりません。入学試験に合格しても、適切なビザが取れていない場合は条件付きの合格となります。ビザを入手し、コピーをオフィスに提出して初めて正式な合格となります。一定期間内にビザが取得できない場合は合格取り消しとなることがあります。

### 1.07: 在校生の兄弟姉妹の入学

在校生の兄弟姉妹の入学は奨励されています。そして一般の受験生より選考の優先順位が高くなりますが、合格が保証されるものではありません。通常の受験者と同様、同じテストを受けなくてはなりません(セクション2.09参照)。セクション2.08に挙げられたことが受験生選考時に在校生の兄弟姉妹にも考慮されます。一般的にすでに在校生がいる保護者の方は特に学校の要請がない限りその兄弟姉妹の願書提出にあたりインタビューを受ける必要はありません。度重なる支払遅滞や保護者の方のサポート並びに学校行事への参加の度合いなどが入学審査にあたり考慮され、可否結果に影響を及ぼすことがあります。

### 1.08: 再入学申請

以前KISTに在学していた生徒が再入学を希望する場合は、セクション2に記載した選考手順に従います。入学検定料の支払いや必要書類(KISTから以前に出された成績表は除く)についても同様です。一般的に学校の要請がない限り保護者の方のインタビューはありません。しかし、生徒は一般受験生と同じテストを受けなければなりません(セクション2.09参照)。退校後、3年以内に再入学が認められた場合は入学金と施設拡張費の減額規定が適用されます(セクション7.01参照)。

### 1.09: 短期入学

3か月に満たない短期入学はお勧めしませんが、申し込みについてはその必要性和空席状況に基づき考慮されます。一般授業料は月ベース比例配分となりますが、その他の費用の減額はありません。ただし、4月から6月の入学の場合に限っては施設維持費は減額されます(セクション7.06参照)。学校の制服(夏用と冬用:季節による)とPEの上下ユニフォームはご購入頂きます。出願をされる前に必要な費用についてご承知おきください。

### 1.10: 進級

通常、生徒は各学年度終わりに次の学年に進級します。ただし、生徒の知的、社会的、情緒的成長が次の学年に進級するために十分なレベルに到達していない場合は留年を求められることがあります。また、学年が決まった後は、保護者の方がその要望を正当とする明確な証拠を示すことができる極めて例外的な場合を除き、通常生徒の飛び級の要望にはお答えできません。

受験者が当校の年度終了間近(例:4月や6月)から入学を希望する場合、当校が定める年齢資格学年度を飛ばした上の学年に願書を提出できません。例えば3月に他の学校でG3を終了する生徒が4月からKISTに入学を希望する場合G4ではなくG3に願書を提出することになります。G3を終了してから初めて翌学年度にG4に進級します。出願にあたりこのことを念頭において下さい。

### 1.11: 進学

KISTではG5からG6(PYPからMYP)、そしてG10からG11(MYPからDP)の上級プログラムに進学する際、およびK3からG1に進む際、進学審査がおこなわれます。進学審査では以下の点が審査されます。

- 社会性の発達
- 保護者のサポートと協力

- 心身双方の健康状態
- 以上に加え、G5 から G6 に進学するには次の点も考査の対象となります。
- 上級プログラムで学習できる学力
- また更に、G10 から G11 に進学するには次の点も考査の対象となります。
- 学習意欲、学習態度、生活態度

内部進学考査費としてお子さん一人につき 3,000 円をお支払いいただきます。(セクション 7.01 参照)

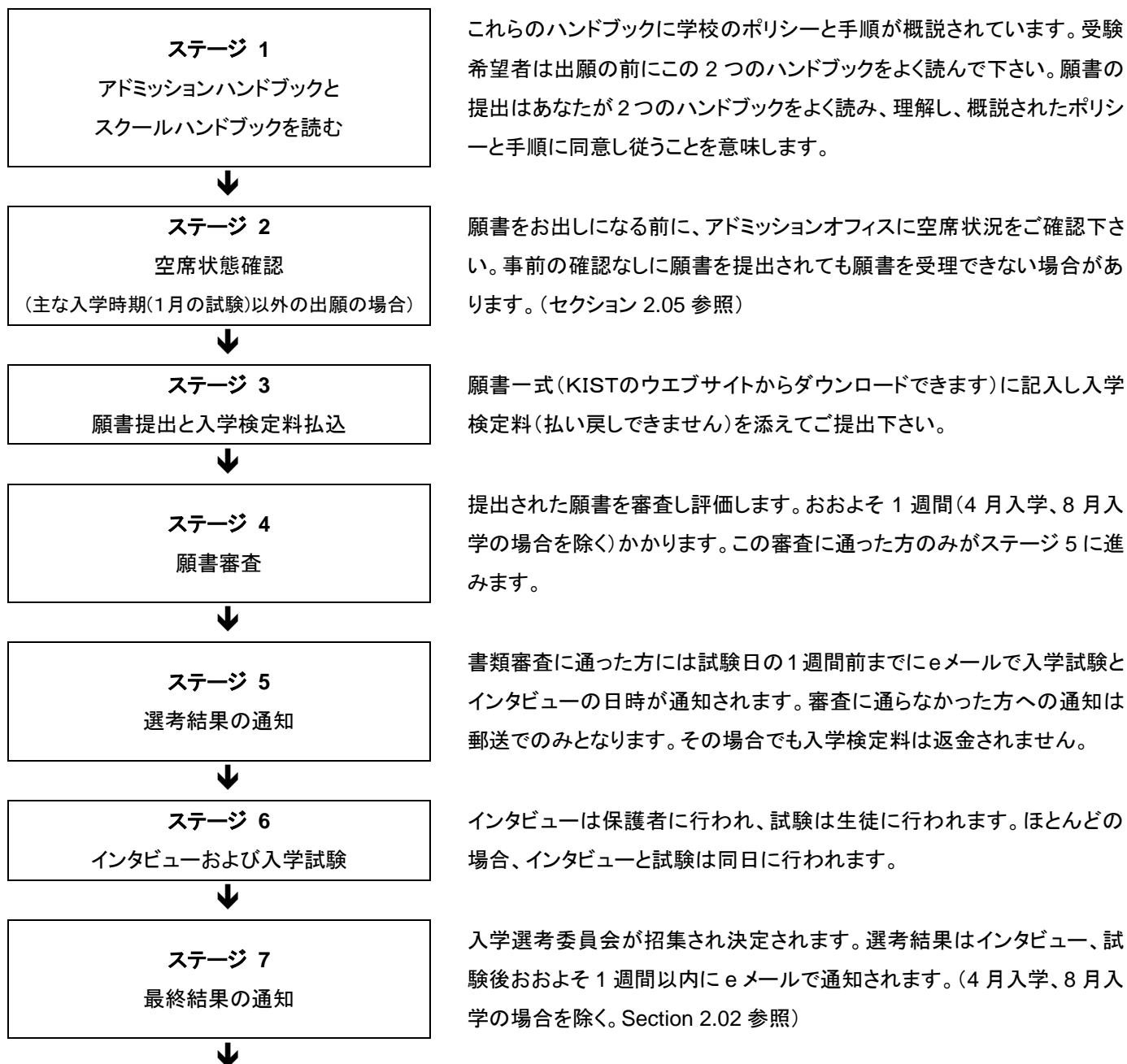
## 1.12: ウエイティング リスト

KIST では、すでに入学試験とインタビューで合格したにもかかわらず入学希望のクラスに空きがない場合、ウエイティングリストにその名前を載せることができます。ウエイティングは K1-G10 が対象となります。(セクション 3.02)

## Section 2: 出願方法

### 2.01: 選考の手順

以下に示すとおり、選考手順の一部として出願は様々な段階を経て進みます。



## ステージ 8 学費の支払い

合格者は席を確保するために合格通知を受け取ってから 1 週間以内に入学金とその他の学費をお支払い下さい。一旦納入された入学金は返金致しません。

願書は入学希望日の学年度の最終日まで有効です。学年度の最終日までステージ 6 まで進めなかった場合(空席がないため選考試験を行えない場合)、願書は自動的に無効となります。

### 2.02: 主な入学時期とその出願期間

主な入学時期は、新学年度がスタートする 8 月からです。また、空席があれば 1 月あるいは 4 月からでも可能です。次の表は主な入学選考時期についてのスケジュールです。ただし、通知なしに日程を変更することがありますのでご注意ください。次学年度 1 月以降の入学予約については受け付けておりません。しかし、新学年度からの入学を次の 1 月からに延期するのは可能です(セクション 3.04 参照)。

2012 年 1 月 入学希望者(2011– 2012 学年度)	
入学願書受付期間	2011 年 10 月 3 日(月) – 11 月 18 日(金)
入学選考試験及びインタビュー	2011 年 11 月 30 日(水)
選考結果通知日(e メールにて)	2011 年 12 月 7 日(水)
学費納入締切日	2011 年 12 月 15 日(木)

2012 年 4 月 入学希望者(2011 – 2012 学年度)あるいは 2012 年 8 月入学希望者(2012 – 2013 学年度)	
入学願書受付期間	2011 年 10 月 3 日(月) – 2012 年 1 月 6 日(金)
入学選考試験及びインタビュー	<b>Grade 1 – 11:</b> 2012 年 1 月 30 日(月) – 2012 年 2 月 2 日(木) <b>K1 – K3:</b> 2012 年 2 月 3 日(金)
選考結果通知日(e メールにて)	2012 年 2 月 20 日(月)
学費納入締切日	2012 年 2 月 27 日(月)[2012 年 8 月入学の K3 を除く] 2012 年 3 月 9 日(金)[2012 年 8 月入学の K3 のみ]
追加募集	2012 年 2 月 21 日(火)より空席がある場合 受け付けます。

上記の二つの異なる入学時期を同時に受験することはできません。つまり、1 月入学を希望するのか、4 月あるいは 8 月入学を希望するのかのどちらかをあらかじめ決めていただかなければなりません。したがって、出願者は 12 月の試験(1 月入学)と 1 月の試験(4 月または 8 月入学)の両方を受けることはできません。さらに 1 月入学に出願され、「不合格」または「ウェイティング」となった場合、その後 6 ヶ月間は 8 月入学のための再試験を受けることはできません。上記に願書受付期間前にお子さんがウェイティングとなっていた場合のみ、ご希望であれば 8 月入学のための再試験を受けることができます。最初のウェイティング期間中に空席が出た場合は、再試験の入学検定料は返金いたします。

### 2.03: その他の入学時期とその出願期間

主な出願期間以外でも空席がある場合は年間を通して願書の受付をしております。その場合願書提出から最終決定までおおよそ 1 か月かかります。このことを念頭において願書をご提出下さい。書類選考にパスした方はインタビューと入学試験を受けることとなります(セクション 2.09 参照)。インタビューと入学試験は通常毎月第 2 第 4 水曜日の午前中に行われます(祭日ならびに学校の行事がある場合を除きます)。受験者は順次受験可能な試験日を指定されますが、願書提出のタイミングと受験者の数により受験日までの期間は異なります。受験日の通知は e メールで少なくとも 1 週間前までに送られます。

### 2.04: 日本語を話す入学希望者の出願手続

日本語が母国語、あるいは家庭での言語が日本語である入学希望者が多いことから、日本語しか話せないお子さんや主要言語が日本語のお子さんからの願書受け付けは 4 月入学または 8 月入学の募集時期のみとなります。願書は 4 月入学または 8 月入学の募集締切日までに必ず提出しなければなりません(セクション 2.02)

この要件は以下のお子さんに適用されます:

- 出願時に在住している日本国籍のお子さん。日本の他のインターナショナルスクールに通っているお子さんも含みます。
- 主要言語が日本語あるいは日本語しか話せないお子さん。日本の学校にしか通学したことがなく、英語にまったく、ある

いは少ししか触れたことのないお子さん。

- まだ学校に通ったことのない幼児で、主要言語が日本語あるいは日本語しか話せないお子さん。

この規定は出願時に海外の英語を話す環境に住んでいる日本語を話すお子さんや帰国子女には適用されません。

## 2.05: 空席状況

セクション 2.01 に示したとおり、主な入学時期以外に出願される場合は願書を提出する前に空席状況をご確認下さい。学校へのお問い合わせの際、お子さんの生年月日、両親の国籍、お子さんの教育的背景についての情報、そして一般的英語力をお聞きます。当校のポリシーである、生徒の男女比率、国籍、英語力のバランスを維持するために、クラスに空席があってもすぐにお子さんの席をご用意できないことがあります。このような場合、書類選考、インタビューそして入学試験に合格しても、お子さんが空席待ち(ウエイティング)のリストに載り席が空くの待つことになるのをご承知の上で願書をご提出になるかをお決め下さい。ただし英語力については、お子さんが試験を受けるまでそのレベルを判断するのは不可能なため、試験の結果お子さんに言語サポートが必要と判断され、クラスに言語サポートの空席がない場合、お子さんはウエイティングリストに載ることになります。

空席状況は常時変わりますのでご注意ください。空席状況を確認後、願書の提出が遅れると、願書が当方に届いた時点で状況が変わっていることがあります。さらに、事前お問い合わせの際に空席があったとしても、実際の出願者数が空席数を超えた場合は、出願者全員が合格できるとは限りませんのでご注意ください。

## 2.06: 出願資格

願書他、提出を求められた文書は全て入学希望者の責任でご用意下さい。入学検定料をお支払い頂き、全ての文書をご提出されるまで選考手続きには入りません。

### 提出書類

以下に挙げるものを提出して下さい。

- **願書** (セクション 1-7)  
スクールウェブサイトからダウンロードできます。
- **生年月日を証明できるもの** (出生証明書のコピーまたはパスポートの生年月日のページ)
- **パスポートサイズの顔写真** (願書に添付)
- **家族写真** (お返ししません)
- **入学検定料** (返金不可) ¥20,000 (銀行振り込みの場合は振込を証明書するものを提出してください)

追加必要書類:

- **成績証明書**
  - G3 以上の入学希望者: 過去 3 年分の成績表。学校の印の押された正式なコピーでなければなりません。入学申込者の学校から直接 KIST のアドミッションオフィスに送るか、学校印の入った封筒に厳封されたものを他の必要書類と共に提出下さい。先生からのコメントのある詳細な成績表が望まれます。
  - G2 以下の入学希望者: 入手できる全ての成績表のコピー。学校から発行される正式なコピーでなくても構いません。
- **学校調査票** (G2 以上のみ)  
スクールウェブサイトからダウンロードして下さい。入学希望者の現在通っている学校に前もって記入を依頼して下さい。これは機密文書ですので学校から直接 KIST のアドミッションオフィスに送っていただくか、他の出願書類と一緒に封筒に入れて学校印で封印されたものを提出して下さい。
- **パーソナルステートメント** (G8 以上の入学希望者のみ)  
スクールウェブサイトからダウンロードして下さい。入学希望者自身が英語で自筆の上、その他提出書類と共に提出下さい。
- **共通試験の結果のコピー** (受けている場合)
- **ビザの証明書** (両親と日本で同居していない日本国籍以外の生徒のみ)

### 願書提出の一般条件

- ご提出頂いたものは結果の如何を問わずお返し致しません。
- 入学申込書(セクション 1-7)はホチキスで留めないで下さい。
- 全ての提出文書は読みやすい、はっきりとした文字(英語のみ)でボールペンまたは万年筆で書いて下さい。KIST は間違い、あるいは不明瞭な連絡先による間違いには責任を負いません。
- 成績表は全て英語で記して下さい。必要な場合は英訳をして下さい。翻訳の手配は各ご家庭でお願いします。学校からの正式な成績証明書は学校から直接当校に送るか、もしくは学校印の封筒に厳封されたものを提出して下さい。全ての成績表の提出がないと選考手続きには入れません。
- 願書および全ての提出文書は A4 標準サイズの用紙(210mmx297mm)でご提出下さい。(写真を除きます) アメリカンレターサイズの用紙は提出前に必ず A4 サイズに変更してください。

- KIST を受験される際には、学校から配信される情報が見ることが出来るよう、ご家庭にコンピューターで e メールが受信でき、プリンターでプリントアウトできる環境が整っていることが必要条件です。出願の際に、学校から 10MB の添付資料を受け取ることができる e メールアドレスを知らせていただきます。携帯電話の e メールアドレスは無効です。学校とのコミュニケーションポリシーに関する詳細は KIST スクールハンドブックをご覧ください。
- あなたのお子さんが前に受けた教育について全ての情報をご用意ください。同時に、何か特別な学習に関する問題がありましたら、その詳細もお知らせ下さい。願書提出時に判っていたことを明らかにしなかった場合、合格を見直しあるいは取り消すこともあります。

## 2.07: 願書提出

願書は郵送あるいは宅配便にて下記までお送り下さい。あるいはアポイントをとり、担当者までお届け下さい。ファックスおよび e メールによる提出は受け付けておりません。

ケイ・インターナショナルスクール東京  
 入学担当者あて  
 東京都江東区白河 1-5-15  
 郵便番号 135-0021

入学検定料は銀行振り込みあるいは現金で直接学校にお支払い下さい。現金または銀行振り込み以外は受け付けません。振込手数料は振込時に自身でご負担願います。海外から銀行送金される場合は円建てで手数料引き去り後正額 2 万円をお振込下さい。送金銀行、受取銀行双方の取り扱い手数料が支払の時点で完済されていることが受験者の責任です。間違えて不足が生じないように、送金時に銀行にご確認下さい。

### 銀行振込の場合:

銀行名: 三井住友銀行  
 支店名: 錦糸町支店  
 住所: 東京都墨田区江東橋 4-27-14  
 電話番号: 03-3635-0001 / +81-3-3635-0111  
 口座の種類: 普通預金  
 口座番号: 6646924  
 スイフトコード: SMBCJPJT  
 口座名義: 学校法人ケイ・インターナショナルスクール

入学についてのお問い合わせは入学担当まで月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時の間にご連絡下さい。

- Tel (英語): 03-3642-9993 / +81-3-3642-9993
- Tel (日本語): 03-3642-9992 / +81-3-3642-9992
- Fax: 03-3642-9994 / +81-3-3642-9994
- E-mail: info@kist.ed.jp

## 2.08: 入学選考

在校生の多様性を維持し、経済的背景を配慮した学費で高度な国際教育を提供するという当校の目標のために、入学に当たり幾つかの要件が考慮されます。もっとも重要なことは、KIST のプログラムと教育環境が、入学を希望される保護者と生徒の期待とニーズに合っていることです。毎年たくさんの方に入学を希望して頂いておりますが、受け入れ可能人数が限られるため、全てのお子さんに入学頂くことは出来ません。当校に適合する生徒を選び、私たちが提供するプログラムで最も利益を受ける生徒を認定するために、願書提出者は全員が入学選考委員会による選考を受けます。以上の理由で、最初に提出される書類がとても重要です。ほとんどの場合、あなたと学校の入学選考委員会との最初の出会いはこの書類となります。これは、選考委員会にあなたをアピールする機会でもあります。

選考プロセスの段階を通して、以下の評価基準が注意深く検討されます。

組織に関すること:

- 空席の有無
- 年齢の資格
- 国籍、男女比率と英語力のバランス
- 各クラスの受け入れ状況

生徒のバックグラウンド:

- 指導言語が英語で行われるインターナショナルで学ぶ必要性
- 英語で学んだ経歴 (G1 以上の受験者)
- 当校の学習プログラムにふさわしい英語能力

- 身体的発達と十分な社会性(特に低学年)
- これまで通っていた学校での成績、実績
- 兄弟姉妹の在籍

保護者:

- 国際教育の目的についての理解
- 教育に対する考え方と子供の未来についてのビジョン、ミッション、教育哲学
- 当校の哲学と教育理念に心から信頼、賛同していること
- 家庭で子供の成長発達をサポートできること
- 学校の催しや行事をサポートする意志

全ての願書提出者が書類選考にパスするわけではありません。書類選考にパスしなかった受験者は次のインタビューと入学試験の段階に進めません。書類選考をパスしなかった場合、次学年度に再び願書を提出することが出来ます(セクション 3.07)が、願書をご提出になる前に上記に概説された基準をよくお読みになることをお勧めします。受験結果については、個々のご質問には一切お答え出来ませんのでご了承下さい。願書の提出はこのポリシーをご理解、同意頂いたことを意味します。

## 2.09: インタビューおよび入学試験

最初の書類選考にパスした方は全員学校で行われるインタビューおよび入学試験を受けて頂きます。

### インタビュー

インタビューは保護者の方と行われ、学校の哲学とプログラムが保護者の方の教育的信念や希望と合致しているかを確認するためのものです。インタビューは通常他の保護者の方たちとグループによる討論の形で 30 分くらいかけて行われます。また、時には個人インタビューの形でも行われます。インタビューは英語または日本語で行われます。英語でも日本語でも意思の疎通ができない保護者の方は通訳をお連れ下さい。その場合は、インタビューに保護者、受験者以外の方が参加することを前もって学校に連絡下さい。すでに受験者の兄弟姉妹が当校の生徒である保護者の方と以前当校の生徒であった受験者の保護者の方は改めてスクールから要求のない限りインタビューに参加する必要はありません。(セクション 1.07 および 1.08 参照)

インタビューでは、あなたはいくつかの質問を受けます。あなたのお答えになったことを、以下に概説された基準に照らし合わせて審査が行われます。

- 国際的教育に関する国際的な考え方の程度
- KIST の哲学とプログラムへの共感、理解、興味の種類
- 子供の将来のための教育的見解とビジョンの明快さ
- 家庭で子供をサポートする能力(精神面、学習面)
- 学校の催しに参加したり、学校のポリシーに従うなど、学校をサポートする意志

### 入学試験

入学試験は受験者が受験するグレードのカリキュラムを学習するのに必要な英語力があるかどうかをチェックします。K1 と K2 の子供の試験はお絵描きをする、物の名前を言う、塗り絵をする、数を数える、などいろいろなアクティビティに参加することです。K3 の子供の試験はリスニングとスピーキングの 2 つに分かれています。しかし、中途入学の場合はリーディングとライティングのスキルもテストされることがあります。また K1 から K3 の受験者には通常の教室で他の子供との交流状況の様子観察が行なわれます。G1 以上の受験者は英語のリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの 4 つの試験が行われます。学年にもよりますが、センテンス、パラグラフ、またはもっと長い文章の音読、絵を見てそのことについてや、お話を作って話す、質問に答える、単語、センテンス、またはもっと長い文章(たとえば、話の続きを書く、答えを書く、録音されたものを聞いてそれについての質問に答えるなど)を課すこともあります。子供の現在の本当の英語力を把握するために試験とそのレベルについてこれ以上の詳細はお知らせ出来ませんのでご了承下さい。

試験中、試験官は受験者の集中度や一般的な態度、行動も観察します。受験する学年により異なりますが、試験時間は 1 時間から数時間です。原則として G1 以上の受験者には数学の試験も行います。

試験の結果生徒の英語のレベルがその受験したグレードを学習するのに十分でない場合、その生徒は言語サポートが必要です(セクション 5 参照)。言語サポートを受けても生徒が受験したグレードで学習するには英語力が十分でない判断された場合は通常不合格となりますが、面接と入学試験の結果のみが合格決定におけるすべての要件ではありません(セクション 2.08 参照)。

## Section 3: 合否決定および入学時期延期

### 3.01: 合否の通知

合否決定は保護者のインタビュー、受験者の試験結果そして選考段階における様々な基準を十分に考慮し最終的に決められます(セクション 2.08 参照)。合格者は以下に述べるような受験者および家族です。

- インターナショナルスクールに通う特別な必要性あるいは理由を正しく示せること
- 国際的な考え方をもち、国際的教育の目的を理解していること
- 英語力が当校のカリキュラムをこなしていけるレベルにあること(言語サポートなしに、あるいは言語サポートがあれば)
- KIST の哲学と目的を理解し、賛同していること
- 高い学問的向上心のある教育に明確な考え方を持っていること
- 保護者が家庭で子供のサポートを十分にでき、また学校の催しやイベントを進んでサポートする意志があること
- セクション 2.08 に概説された他の全ての基準に合っていること

最終結果はインタビュー、入学試験終了後約 1 週間後に e メールでお知らせします。4 月入学、8 月入学に出願される場合はセクション 2.02 をご覧ください。結果は受験者の保護者の方のみに通知されます。いかなる事情があっても、受験者の保護者から学校に直接要請がない限り結果を教育コンサルタントや第三者に知らせることはありません。

**試験結果についての個人的なお問い合わせにはお答え出来ませんのでご了承下さい。  
KIST はインタビューと入学試験についていかなる情報も提供しないというポリシーをもっています。  
願書の提出はこのポリシーを理解し、同意したことを意味します。**

### 3.02: 合否区分

選考結果には次のような種類があります。

- **Enrolment approved (入学許可)** – 選考の結果、合格となり、クラスの席が確保されました。**Offer of Enrolment (合格通知)**と一緒に学費の請求書が送付されます。学費を指定期日までにお支払い頂けなかった場合は、入学は自動的にキャンセルになります。(セクション 3.03 参照)
- **Enrolment approved (言語サポート付き入学許可)** – 選考の結果、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのうち一つ以上のスキル分野で言語サポートを受ける必要があるという条件付で合格となり、席が確保されました。
- **Application unsuccessful (不合格)** – 選考の結果、不合格となりました。不合格は通常セクション 2.08 に概説されたいろいろな判断基準の組み合わせに合致しなかった結果です。これについて学校としてどのような意見も申し上げることはできませんので、再度願書を提出なさる場合は、事前に概説された基準をしっかりと見直すことをお勧めします。不合格になった場合は、同一年度内での再受験は認められません。願書再提出には次の学年度までお待ち下さい。(Section 3.07 参照)
- **Waiting list enrolment / Waiting list enrolment (ウェイトिंग/ 言語サポート付きウェイトिंग)** – 選考の結果は合格となりましたが、現在該当クラスに空席がないため、空席が出るまでお待ちください。願書の提出時期に関係なく、ウェイトिंगの有効期限は願書を提出された学年度の夏期休暇の終了時までとなります。空席状況は、性別、国籍、言語の必要性といった基準により判断されます。ウェイトング期間中に席が空きましたら、こちらからお知らせします。席が空かなかった場合は、夏期休暇終了時にウェイトングは無効になります。空席待ちの場合は、他の学校への入学も選択肢として検討されることをお勧めします。学校は席が空くかどうか、いつ空くかどうかについて保証できませんので、あらかじめご了承ください。お待ちの間、いつ空きが出るかはわかりません。空席が出次第、学校からお知らせいたします。その際、なんらかの理由ですぐ入学できない場合は、そのままウエイティングリストに載せるか、または、入学をキャンセルされるかをお知らせ願います。ウエイティング期間中に当方よりご連絡差し上げウエイティングを続けるか否か、確認させて頂くこともあります。また、状況に変化があった場合はアドミッションオフィスまでお知らせくださるようお願いいたします。
- **Re-assessment (再選考)** – やむを得ない理由で、面接、入学試験日に評価判断できなかった場合、新たに日時を決め、再度入学試験を行います。再選考が完了するまで、選考結果は保留となり、クラスの席は確定されません。再選考が行われる前に空席が全て埋まってしまう可能性がありますのでご注意ください。

### 3.03: 合格受理

入学許可を受けたご家族はお子さんの席を確保するために早急にお手続き下さい。入学許可書には学費請求書が同封されています。入学を希望する場合は請求書に記された期日までに学費をお支払い下さい。支払い期限は出願の時期によ

って異なります (Section 7.02 参照)。入学許可書の有効期限は入学金払込期日までです。期日までにお支払いがない場合は入学の意思がないものと判断し、入学許可は自動的にキャンセルとなります。一旦入学許可がキャンセルされますと再発行は致しません。また、他のウェイトイングされているご家族との公正を維持するために、いかなる理由があっても払込期日の延長は致しません。さらに入学を辞退された場合は、特別な場合 (たとえば、会社が転勤を命じたなど) で次のような条件が当てはまる時を除き、再度入学許可を出すことはありません。

- 該当クラスにすぐに入学できる空席がある場合
- 学年度の初めに必ずアドミッションオフィスに連絡をとること
- 学費支払い期限日までに必ず入学許可の不受理理由を知らせること

上記の条件がすべて整わない限り、再度入学許可を出すことはできません。再度入学許可が認められた場合は手数料 2000 円が発生し、請求書をお送りします。

納入された入学金は仮入学 (セクション 4 参照) のお子さんが最終的に面接、入学試験で不合格になった場合 (その場合、保護者の方の要請により入学金をお返し致します) を除き、理由の如何を問わずお返し致しません。保護者の方は入学金を支払い、入学をお決めになる前にご家族の状況を慎重に考慮し、スクールについて必要なことはすべてご確認下さい。

入金の確認後、入学に関する書類をまとめた必要な入学手続き書類一式を、お送りします。生徒は全員、登校初日までにエマージェンシー情報を含む全ての書類を提出しなければなりません。登校初日以前に全ての書類が提出されていない場合、生徒は授業を受けられませんのでご注意ください。その他、必要なものは以下のとおりです。

- 生徒の現在の健康状態を証明する医師の健康診断書を必ずご提出下さい。東京に初めて住む家族の方は前もって適当な医療機関を調べておくことをお勧めします。
- 全生徒は登校初日以前に来校し制服のフィッティングをして下さい。
- 東京およびその近郊の学校から転校される生徒および保護者の方については、授業料を完済しているかどうかなどを、前の学校に問い合わせ確認させて頂くことがあります。

### 3.04: 入学時期の延期

全ての入学試験および合否の判断は、入学希望者の提示した入学希望日に合わせて行われます。従って、入学が決まった生徒の入学日は願書に書かれた入学希望日となります。その日をもって初めて入学通知書は有効となります。しかし、入学金納入後に入学希望日を 1 か月以上延期する必要がある場合には、最大で学校の長期休暇を挟んだ期間 (すなわち、8 月から 12 月、1 月から 3 月、4 月から 6 月) 1 期間のみ入学時期を遅らせることが可能です。延期は個々のプログラムの範囲内 (例: PYP, MYP, DP) のみで可能です。それぞれをまたがって延期することは出来ません。

延期方法には次の 2 種類があります。

- **Secured deferral** (席を確保した上での入学時期延期) – お子さんが欠席する学期分の授業料と年間一般費をお支払い頂きます (バス代、ランチ代を除きます)。
- **Unsecured deferral** (席を確保しない上での入学時期延期) – 授業料未納の入学時期延期希望者に対しては席を確保出来ません。延期期間中、他の合格者が出た場合は、その時点でお子さんの席は新たな合格者に移ります。入学希望の時点で空がない場合はその学年度末までウエイティングリストに載せることは可能です。

入学時期を延期したい場合は、スクールのウェブサイトから **Application for Enrolment Deferral** をダウンロードして、**必要事項を記入の上、提出して下さい**。入学時期延期願いは **Offer of Enrolment** に記載された初登校日までに申請して下さい。この日までに提出されなかった場合は、**入学の意思がないものとみなし、入学は自動的に取り消されます**。また、日付とサインがない申請書は無効となります。保護者の代理人がサインする場合は委任状を添付して下さい。申請書類は入学選考委員会で審査されますが、決定まで時期により 2 週間から 1 か月を要します。この延期措置を適応する場合は、通常の入学者と同様、請求書に書かれた締切日までに入学金を納めなければなりません (セクション 3.03 参照)。お支払いがない場合は入学は自動的にキャンセルされます。

### 3.05: 入学後の再審査

入学後に入学選考時と異なる事情が生徒に生じた場合、学校は再審査を行うことがあります。入学時に生徒の学習障害が認識されなかったのが明らかになった場合などです。再審査の目的は生徒のニーズを認識し、学校が生徒のニーズに十分に見合った設備やスタッフを用意できるかどうかを判断するためです。そして保護者の方がその生徒のニーズに合った

サポートを出来る分野を判断するためでもあります。KIST では、学習支援の専門家を採用しておりませんので、再審査において学校がその生徒のニーズに適切な対応ができないと判断した場合、残念ながら退校という措置をとることもあります。

### 3.06: 言語再試験の申し込み

言語サポート付きウェイトिंगの通知を受けた受験者は 6 か月以上経過後、言語(英語)再試験を希望することが出来ます。再試験の結果、英語学校に通ったり、英語が母国語の国に行く等英語力の向上のための努力が見られ、言語サポートなしに授業についていけると判断された場合は言語サポートなしの席に空席が出た時に入学が出来ます。空席が出なかった場合は、引き続きウェイトングリストに期限まで留まることになります。言語再試験をご希望の場合は言語再試験の申込用紙をアドミッションオフィスに請求し必要事項をご記入の上お申し込み下さい。再試験費 5000 円は試験当日現金でお支払いいただきます。ウェイトングの期限が 6 か月を過ぎた生徒は再試験を受けられませんのでご注意ください。再試験の際、判断の対象学年は出願時の対象学年にもとづいた学年のみとなります。

### 3.07: 入学試験再受験

受験は 1 学年度に 1 回のみ可能です。不合格になられた場合、願書提出は次の学年度までお待ち下さい。1 月から 3 月の入学希望で 12 月にインタビュー、入学試験を受けて不合格 だった場合は再受験まで 6 か月、次の学年度までお待ち下さい。翌月の 1 月に再接触、再入学試験は受けられません。(セクション 2.02 参照)

## Section 4: 仮入学 (海外在住受験者のみ)

### 4.01: 仮入学

出願時に入学希望者と保護者の方が日本に在住でなく、入学希望者の母国語が英語か、それに限りなく近い英語のレベルの場合は、仮入学審査を申請することができます。仮入学審査に合格しても、正式の入学は、来日後に行われるインタビューと入学試験に合格した場合のみ許可されます。インタビューまたは入学試験の際に、受験者または保護者に関する情報が出願書類に書かれた内容と異なることが判明した場合(判断基準についてはセクション 2.08 参照)は、仮入学が取り消されます。

### 4.02: 仮入学の出願資格

仮入学は、英語が母国語または、限りなく母国語に近い生徒で、海外在住中のため当校での入学試験を受けられない場合のみ出願することができます。仮入学は G1 以上の学年のみで、K1 – K3 への仮入学は受け付けていません。また、英語以外の言語が母国語、または、出願時にすでに日本に在住している場合は、仮入学ではなく、通常の入学選考手順を踏まなければなりません。

### 4.03: 出願方法

仮入学受験には、通常の入学願書と書類の他に、以下の書類の提出が必要です。

1. *A sample of writing* 在籍している学校での提出課題で、生徒のライティング能力がはっきり分かるような長さのもの。どの教科のものでも構いませんが、日常の出来事をつづったものではなく、教科内容に関連したもの。ライティングのサンプルが提出されていない場合は入学選考されません。
2. *A short questionnaire* 1. についての先生のコメント。どのような課題でどのような条件のもとで書かれたものか、先生または大人のサポートを受けたか等。
3. *Contact details* 受験者が在籍している(いた)学校の先生または、校長の氏名と連絡先。

上記の文書に加えて、受験者と保護者の方はオンライン(Skype などのプログラムを使用)、または、電話で英語のインタビューを受けていただくこともあります(費用は受験者負担)。学校と受験者、双方の都合のよい時間に 20 分ほど行います。

仮入学受験出願には、**Application for Admission** の他に、**Application for Provisional Enrolment** と **Provisional Enrolment Assessment Questionnaire** がライティングのサンプルと共に必要です。それぞれ学校のウェブサイトからダウンロードできます。入学検定料はこの時にお支払いください。

### 4.04: 選考と合否の通知

願書提出後、通常受験者と同じ判断基準(セクション 2.08 参照)で書類審査が行われます。また、願書同様、ライティングサンプルも審査されます。英語のレベルが入学を希望している学年のレベルまで達していないと判断された場合、仮入学は認められません。受験者と保護者の方が来日し、インタビューと入学試験を受けるまで願書は有効となりますが、合否の決定にはその時のクラスの空席状況も考慮されます。

仮入学が認められた場合、学校から **Offer of Provisional Enrolment** と学費の請求書をお送りします。お子さんの席を正式に確保する為にも学費は請求書に記載された期日までにお支払いください。指定期日までにお支払いいただけなかった場合、入学は自動的にキャンセルとなります。他に入学を希望している受験者の方もいらっしゃいますので、お支払い期日を延ばすことはできません。

正式な入学は、お子さんの来日後に行われるインタビューと試験に合格した場合にのみ許可されます。仮入学審査結果が無効になるような新たな要因が判明することがない限り、この仮入学審査手順は自動的に進められます。来日後の試験の結果、学校側が正式入学を許可できなかった場合は、納入された学費(入学金も含む)を返金します。それ以外は、家族の事情を含めて、いかなる場合も入学金は返金されません。

なお、仮入学者が入学の延期を希望する場合、一学期分の学費を全額支払うことで入学時期の延期が可能です(セクション 3.04 参照)。

## Section 5: 生徒サポート

### 5.01: 英語言語サポート

学校のカリキュラムを独りで十分こなす英語レベルでない、英語ネイティブスピーカー、ノンネイティブスピーカー全学年の生徒に対して英語言語サポートを提供しています。生徒のレベルにもよりますが、次のうちのひとつまたは複数のサポートが行われます。

- 教室内でのサポート
- 科目の経路による差異化
- 言語に焦点をあてたカリキュラムを補うアクティビティ(放課後のクラブ)
- 指導法の差異化

#### 1. 教室内でのサポート(K3-G10)

K3 から G10 までは、教室でのサポートが必要な生徒のために英語サポート(ELS)が行われます。これは、英語レベルが勉強をこなせるレベルに達していない生徒から優先的に行われます。教室にサポート教員がいることで生徒は言語を意味のあるコンテキストで最大限使うことができます。これは特に他の生徒とやり取りをする際にいえることです。生徒によりレベルは異なりますので、すべての生徒の言語サポートの必要性について ELS 教員とクラスの担当教員と一緒に検討し、それぞれの必要に応じたサポートを計画します。

#### 2. 科目の経路による差異化(G6-12)

英語には次の表のように G6 から G10 の生徒には2つの、G11 と G12 には3つの経路があります。

カリキュラム	学年	科目	説明
MYP	G6 – 10	English A	英語を母語とする生徒またはそれに近い生徒のための科目。文学を中心とした教科で、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの言語 4 分野すべてについてすでに充分習熟している必要がある。
		English B Advanced	コミュニケーションを目的とした英語や勉強のための英語にあまり触れてこなかった生徒のための科目。文学だけでなく言語習得の向上を目的とした言語要素に重きをおいている。
DP	G11 – 12	English A Literature (Higher/Standard)	英語を母語とする生徒またはそれに近い生徒で文学が好きで生徒向けの難しいコース。より深い読解力とリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの高いレベルを必要とする。
		English A Language and Literature (Higher/Standard)	英語を母語とする生徒またはそれに近い生徒でかなり流暢に英語を理解できるが、さらにリーディング、ライティング、リスニング、スピーキングのいずれか、またはすべてにおいて高いレベルを目指す生徒のためのコース。

	English B (Higher/Standard)	コミュニケーションを目的とした英語や勉強のための英語にあまり触れてこなかった生徒のための科目。文学だけでなく言語習得の向上を目的とした言語要素に重きをおいている。
--	-----------------------------	---

新入生の場合は KIST 入学試験での結果をもとに選択する科目が決定されます(セクション 2.09 参照)。言語サポートが必要と判断された生徒は English A を受講することができる英語力に達するまで English B Advanced(MYP)を受講することになります。G11に進級するまでに、ほとんどの生徒が English A コースをとれるようになることが期待されています。

G11とG12では、コースの性質上、教室内での言語サポートを提供することができませんので、入学試験の結果(セクション 2.09 参照)、教室で独りで授業を受けることができないレベルと判断された場合は、入学を許可されない可能性が高くなります(セクション 1.05 参照)。

3. 言語に焦点をあてたカリキュラムを補うアクティビティー(放課後のクラブ)  
言語に焦点をあてたカリキュラムを補うアクティビティーとして、全学に英語に焦点をおいたアカデミッククラブがいろいろと用意されています。これらは生徒にそれぞれの言語活動(クリエイティブライティング、劇、ディベートなど)において英語のアウトプットの機会を増やし、意味のあるやり取りができるように考えられています。参加は自由です。言語クラブへの希望者が定員を超えた場合は、言語サポートが必要と認められた生徒が優先となります。
4. 指導法の差異化  
KISTでは、すべての教員が言語指導教員と位置付け、特定の言語アクティビティーだけでなくカリキュラムのすべてを通して言語指導がなされなければならないと考えています。また、それぞれの生徒にはそれぞれの学習スタイルやニーズがあると考えています。教員は、各生徒がそのレベル内で最大の可能性を引き出して、さらに向上できるようにクラスアクティビティーを生徒に合わせて調整します。

**5.02: スペシャルニーズのサポート**

KIST では学習支援スペシャリストを採用しておりませんので、スペシャルニーズを必要とする生徒の願書を受け付けることはできません。特別なサポートを必要とするお子さんは、必ず願書に明記してください。入学後に申請内容以上のサポートが必要と判断された場合は、お子さんのニーズにあった他の学校を探していただくようお願いすることがあります。

**5.03: 慣らし保育(K1の生徒のみ)**

幼い子は様々な気持ちで学校での初めての数日を過ごします。自信に満ち溢れていて、楽しく過ごしている子もいれば、困難や不安がある子もいます。これらはたいてい親から離れるということが関係しています。初めてのことであればなおさらです。英語が母国語ではないお子さんの場合、英語の環境の学校に通い始めるということは、子供にとってさらに難しいことにチャレンジするということになります。

学校生活に出来るだけスムーズになじむことができるように KIST では、入学時期に関係なく、K1 の新入生は慣らし保育を行っています。このことで生徒は時間をかけて徐々に学校生活になじめるようになります。入学の時期によっては、慣らし保育の形が少し異なる場合があります。

新年度の初めから KIST に入学する生徒のみ、10 日間の慣らし保育があります。最初の週は子供たちを 2 つのグループに分け、午前と午後に 1 グループずつ、短い授業を 2 つ行います。次の週には全ての生徒が長めの午前中の授業を受けます。3 週目からは普通の授業となります。

KIST に学期の途中から入学した場合、登校初日から 5 日間が慣らし保育となります。この期間中生徒は午前の授業だけ参加し、ランチタイムの前に帰宅します。生徒の様子によっては慣らし保育の期間が延長される場合もあります。慣らし保育の詳細については、入学決定後お知らせいたします。

**Section 6: 保護者****6.01: 保護者のサポート**

KIST は「教育は学校と保護者の共同努力から成り立っている」という信念のもと設立されました。よい学校というのは、学習面で優れているというだけでなく、暖かく生徒を見守る学校環境、地域社会、そしてなによりご家庭との強い絆があってこそ成り立つものです。この絆は、保護者の方が、ご家庭でお子さんの学習をサポートしていただくとともに、学校の教育プログラムをお手伝いいただくことによってさらに強まると思います。KIST では、お子さんの教育や学校行事に積極的に参加していただく保護者の姿が、子供たちのよきお手本になると信じています。

KIST では保護者が K1 から G12 までお子さんの教育に関わっていくことを強く期待しています。お子さんの学年が上がるにつれ、保護者がお子さんの学校生活のことを考える時間が様々な理由で減ってしまうことがよくあります。私たちは、子供が成長すると、彼らが自立できるぐらいの十分な常識と技術を身につけたと思いがちです。この考え方は間違っていないかもしれませんが、セカンダリースクールに進学し、青年期に入っても子供たちには保護者の関わりは大事だと考えています。勉強量の多いディプロマ・プログラムを受講する G11 と G12 にとっては特に保護者のサポートがとても大切です。

いくつかの年間行事へのご家族の参加は必須となっています。これらには KISTival(スクールフェスティバル)、保護者説明会、三者面談、生徒主導型面談、ファミリーデーなどを含みます。年間行事の日程はできるだけ早くご家族にお知らせいたします。

多くの保護者の方には仕事など、それぞれの都合があることは承知しておりますが、学校全体の全学年のご家族がお子さんのために学校をサポートしていただくことをお願いします。

**6.02: スクールサポートプログラム(SSP)**

出来るだけ多くの子供たちに国際的な教育を提供するという KIST の目標を達成するためには、保護者の方のご協力が欠かせません。スクールサポートプログラム(SSP)は その目標を達成させる一つの方法です。このプログラムでは年間費を支払うか、特定のお手伝いをしていただくか選ぶことができます。現在 SSP では、保護者の方にバスヘルプ、ランチヘルプ、ピフォーケア、アフターケア、ライブラリーのヘルプなどいろいろなお手伝いをお願いしています。これにより学校は補助人員を雇うコストを削減することができます。

SSP を出来る限り公平に行うために、全ての生徒のご家族には、これらのお手伝いか、年間費として金銭的サポートをしていただくことを義務づけています。他のボランティアサポートは SSP には含まれません。さらなるボランティアサポートはそれぞれの予定に合わせて、ご家族独自の決定で行ってください。KIST は保護者の方のサポートに感謝しておりますが、これらのボランティアは SSP に参加したことにはなりません。KISTival(年1回のスクールフェスティバル)でのお手伝いも義務付けられており、SSP には含まれません。

入学時にこの SSP にお手伝いで参加していただくか、または年間費をお支払いいただくかを選択していただきます。ご両親ともにフルタイムで勤務されている場合は、年間費をお支払いいただくことをお勧めします。入学時に選択された方法は KIST 在籍中有効です。途中で変更されたい場合はオフィスにお知らせください。

お手伝いを選択された場合は、保護者の方のお手伝いの回数は当校に入学された時期や在籍しているお子さんの数により異なります。下の表はお子さんの人数とサポート回数、および相当寄付金額を示したものです。

お子さんの人数		1	2	3	4	5
お手伝い 割り当て 日数	8月-12月入学	4	6	7	8	9
	1月-3月入学	3	4	5	6	7
	4月-6月入学	1	2	3	4	5
支払い費用	8月-12月入学	¥100,000	¥150,000	¥175,000	¥200,000	¥225,000
	1月-3月入学	¥75,000	¥100,000	¥125,000	¥150,000	¥175,000
	4月-6月入学	¥25,000	¥50,000	¥75,000	¥100,000	¥125,000

お手伝いを選択された方には、各期の終わりに次の期間のお手伝いについてのご希望を伺います。最終的な当番表は各期間末に発表になります。当番表が発表されてから入学された場合は、空きがあればその時点でお手伝いをお願いしますが、ない場合はウエイティングリストに載ります。期間内に空きが出なかった場合は、次の期間に優先的にご希望を伺います。

年度内に規定日数のお手伝いをしていただけなかった場合は、翌年度に持ち越されます。持ち越しは 1 回までです。退校時に未消化分が残っていた場合は、一日 25,000 円と換算し、お支払いいただきます。これは、やむを得ない理由で急に退校される場合にもあてはまります。学校は残りの分を消化できる機会を保障することはできません。

金銭的サポートを選択されたご家庭には学年度開始までにお支払いいただく請求書を発行します。

KIST への入学を決めたということは、SSP に協力をするというを同意していただいたことになります。SSP への参加は次年度在籍の条件となります。保護者の方が時間的に貢献して下さることで、全ての生徒に利益がもたらされます。SSP や他のボランティアサポートへのご協力をよろしくお願いします。

### 6.03: 保護者の関わる学校行事など

スクールサポートプログラム以外にも、KIST では保護者の方に様々な行事に参加していただきます。これらの行事には以下のものが含まれます。

#### Parent welcome nights: 保護者説明会

学年の初めの 2 週間の間に行われるこのセッションでは、保護者の方にその学年度の説明を行います。保護者の方はこの機会に担任に会い、新しいクラスでの決まりごとや、求められていることを知ることができます。

#### Parent/Teacher/Student interviews: 三者面談

セメスター 1 に行われるこの面談では、お子さん、保護者の方、教員が、お子さんの勉強の成果について話し合う機会を提供します。新学年への取り組み方や、年間の学習や行動の目標について話し合います。

#### Student led conferences: 生徒主導型面談会

保護者の方には、それぞれのお子さんの評価の一環としてこの面談会には必ず出席していただきます。セメスター 2 の終わりに行われるこの生徒主導型面談会を通して、お子さんは、日ごろの勉強の成果を保護者の方にお見せできるだけでなく、自分の勉強の進み具合を自分で管理する責任を学ぶことができます。他の人に自分が学んだことを説明することで、より理解が深まるのです。

#### Parent participation program: 保護者参加プログラム

各クラス担任は様々な形で保護者の方と接する機会を設けます。通常の授業中に参加していただくプログラムとある時期に開催される特定の行事に参加していただくプログラムがあります。これは、スクールサポートプログラムとは別個のもので、(セクション 6.02)

#### Class parents: クラスペアレンツ

KISTival(スクールフェスティバル)でのクラス売店運営リーダー、学校行事の際のクラスの取りまとめや、担任のクラス運営のサポート、クラス内保護者の組織化など、保護者の参加をよりスムーズに行う役目として各クラスで「クラスペアレンツ制度」をとっています。通常各クラス 2 名ずつのボランティアの保護者の方をお願いしています。

#### Excursions: 遠足、課外授業

お子さんのクラスの遠足や課外授業に保護者の方に参加していただくことがあります。これは、お子さんたちと一緒に未知の世界を探求し、新たな発見を得るといった絶好の機会となります。

#### Parent information sessions: 保護者のための学習会

インターナショナルバカロレアのプライマリーイヤープログラム、ミドルイヤープログラム、ディプロマプログラムに準拠した当校のカリキュラムをより理解いただき、お子さんの学習を積極的にサポートしていただくために、当校では、保護者の方を対象としたカリキュラムや評価法についての勉強会を年間を通して開催しています。

#### Parent Teacher Staff Association (PTA)

すべての保護者の方はお子さんの在籍中 PTA の会員となります。年度の初めにその年の会費を集めます。PTA ではボランティア活動や金銭的サポートを通して学校の発展に寄与していただき、スクールコミュニティのコミュニケーションを促進します。保護者の方には役員会や、その他の準備委員会などを通して、PTA の積極的に活動していただきたいと思えます。

#### KISTival キスティヴァル(スクールフェスティバル)

毎年 10 月中旬にスクールフェスティバル、KISTival が行われます。スクールフェスティバルの収益は、図書の購入や、コンピューター、アート、サイエンスなどの設備の充実、学校の教育環境向上のために取り組む特別プロジェクト等に使われま

す。日々進歩する学習プログラムを補うため、これらの充実は不可欠です。そのためスクールコミュニティーが協力してフェスティバルを成功させ、出来る限り多くの収益をあげる必要があります。全ての保護者の方に前日の準備と、当日の売り場のお手伝いが義務付けられています。食べ物、商品の提供、販売する食べ物の材料、運営費などの寄付、準備に時間を割いて頂ける方も募っています。

### Family Day: ファミリーデー

KIST コミュニティーの親睦をはかることを目的に、毎年5月の土曜日にファミリーデーが開催されます。当日は、お子さん、保護者の方、教職員と共に、競技や楽しく体を動かすアクティビティーに参加します。また、学年度終了間近に行われるこのイベントでは、翌年度に向けたインフォメーションや、創設者賞(奨学金)受賞者の発表も行われます。教職員や他の保護者との交流の良い機会を提供いたします。

## Section 7: 学費

### 7.01: 2012-2013 授業料

KIST は、恵まれたものだけが国際的な教育を受けられるのではなく、様々な社会的経済的背景の生徒が入学できるように常に学費について配慮しています。しかし、授業料やその他の費用は定期的に(通常は3年ごと)見直しを行っています。変更がある場合には出来るだけ早い段階でお知らせいたします。

#### 授業料

種類	学年	金額	支払い時期
入学検定料	全学年	¥20,000	出願時
入学金		¥300,000 (再入学時: ¥60,000 <sup>1</sup> )	入学時のみ
施設拡張費	全学年	¥300,000 (再入学時: ¥60,000 <sup>1</sup> )	入学時のみ
学費	K1 – Grade 5	¥1,480,000	年額
	Grade 6 – 10	¥1,630,000	
	Grade 11 – 12	¥1,780,000	
施設維持費	全学年	¥50,000 <sup>2</sup>	年額
PTA 費(家族ごと)	全学年	¥2,000	年額
IB ディプロマ試験入学検定料	Grade 12 のみ	¥160,000	9月15日: ¥80,000 12月15日: ¥80,000
内部進学審査費	Grade 1, Grade 6, Grade 11 進学時	¥3,000	進学した際

#### その他の費用

種類	学年/書式	金額	支払い時期等
スペシャルエデュケーション費 <sup>3</sup>		¥50,000 から	月額
各種書類作成費用	在学証明書 <sup>4</sup>	¥1,000	1 通
	在籍期間証明書 <sup>4</sup>		
	推薦書、学校調査票、その他書類 <sup>5</sup>		
	成績表再発行		
	請求書再発行		
IDカード(Edy Card)再発行	全学年	¥2,000	1 枚
入学試験料 <sup>6</sup>	全学年	¥5,000 から	1 回/1 時間
入学テスト再試験料 <sup>7</sup>		¥5,000	1 回
入学許可再発行費 <sup>8</sup>		¥2,000	発行時

1 3年以内にKISTに再入学する際には割引料金となります。(セクション 1.08 参照)

2 4月以降から入学する生徒の場合は減額されます。(セクション 7.06 参照)

3 サポートの内容により金額は異なります。

4 形式がいろいろありますので、必要な場合はオフィスにご相談ください。

5 転校先からの指定書類がある場合はお問い合わせください。

6 海外の学校に転校される際にKISTで行われる転校先の入学試験実施費用。9 試験の送料は別途請求します。

7 言語サポート条件付きでウェイトिंगだった場合の再試験(セクション 3.06 参照)。

8 入学許可を辞退した後に入学許可を再発行する場合(セクション 3.03 参照)。

**7.02: 支払オプション**

8月の新学年度から入学した生徒の学費は一年分を一度にまとめてお支払いいただく(年間一括払い)か、3回に分けて(分割払い)お支払いいただきます。一括払いの場合は、割引があります(Section 7.06 参照)。その他の時期に出願された場合は、合格通知日から2週間以内にお支払いいただきます。お子さんの登校初日が2週間以内の場合は、登校初日までにお支払いください。

**年間一括払い**

この支払方法は新学年度初日から入学する生徒のみに適応されます。1月に入学試験を受け、4月または8月に入学される方の支払期限は、Section 2.02 をご覧ください。8月から入学するためにセメスター2に出願された場合は、合格通知日から2週間以内にお支払いいただきます。お子さんの登校初日が2週間以内の場合は、登校初日までにお支払いください。年間一括払いの金額は下記の表のとおりです。

K1 – Grade 5		Grades 6 – 10		Grade 11	
入学金	¥300,000	入学金	¥300,000	入学金	¥300,000
施設拡張費	¥300,000	施設拡張費	¥300,000	施設拡張費	¥300,000
授業料	¥1,480,000	授業料	¥1,630,000	授業料	¥1,780,000
施設維持費	¥50,000	施設維持費	¥50,000	施設維持費	¥50,000
PTA 費	¥2,000	PTA 費	¥2,000	PTA 費	¥2,000
計	¥2,132,000	計	¥2,282,000	計	¥2,432,000
割引額	¥14,800	割引額	¥16,300	割引額	¥17,800
支払額	¥2,117,200	支払額	¥2,265,700	支払額	¥2,414,200

**分割払**

授業料のみ分割払いができます。その他の費用(入学金、施設拡張費、施設維持費と PTA 費)は初回に全額をお支払いいただきます。1月に入学試験を受け、8月に入学される方は3回分割になります。最初のお支払日は Section 2.02 にあるとおりで、入学金、施設拡張費、施設維持費、PTA 費と授業料の一部をお支払いいただきます。2回目は9月15日、3回目は12月15日までにお支払いいただきます。下の表にまとめましたので、ご覧ください。

	K1 – Grade 5			Grades 6 – 10			Grade 11		
	第一回	第二回	第三回	第一回	第二回	第三回	第一回	第二回	第三回
支払期限	2月27日	9月15日	12月15日	2月27日	9月15日	12月15日	2月27日	9月15日	12月15日
入学金	¥300,000			¥300,000			¥300,000		
施設拡張費、	¥300,000			¥300,000			¥300,000		
授業料	¥592,000	¥444,000	¥444,000	¥652,000	¥489,000	¥489,000	¥712,000	¥534,000	¥534,000
施設維持費	¥50,000			¥50,000			¥50,000		
PTA 費	¥2,000			¥2,000			¥2,000		
小計	¥1,244,000	¥444,000	¥444,000	¥1,304,000	¥489,000	¥489,000	¥1,364,000	¥534,000	¥534,000
合計	¥2,132,000			¥2,282,000			¥2,432,000		

1月の入学試験期間以降に試験を受けた方の第一回の支払期限は合格通知日より2週間以内となります。第二回、第三回の支払期限は上記の通りです。

2年目以降の分割払い期限は次の表のとおりです。授業料は3分割された金額を、その他の費用は第一回支払期限5月15日までにお支払いください。お支払いの詳細については、3月に各ご家庭に通知します。

学費	支払期限
第一回	5月15日
第二回	9月15日
第三回	12月15日

**7.03: その他の費用**

着用が義務付けられている制服の購入、スクールバスやスクールランチの費用、教科書(必要に応じて)代、キャンプへの参加費などの請求書は別に送られます。

**制服**

**¥80,000 から**

KIST では全校生徒に制服の着用が義務付けられています。制服は受付で販売しています。制服には夏服と冬服があり、体操服もあります。

**スクールバス**

**¥157,500 – ¥262,500 per year**

KIST では、生徒の登下校用にスクールバスを提供しています。このバスサービスは、時間とコストに無理のない範囲のルートのみを提供されています。バスルートや停留所は毎年見直され、変更される場合があります。スクールバスは利用者

が支払いをするシステムで、登録者のみが利用することが出来ます。下記の料金表は、往復の月額料金です。片道のみの利用の場合でも割引はできません。スクールバスは生徒のみ利用できます。保護者の方は利用できません。

#### **Pink Bus (Hiroo/Tokyo route)**

バス停(港区): 筈公園、広尾、天現寺 ¥26,250/月  
バス停(中央区): 東京駅八重洲口 ¥15,750/月

#### **Blue Bus (Nishi-Kasai/Toyo-cho route)**

バス停(江戸川区): 西葛西駅 ¥15,750/月  
バス停(江東区): 都民銀行 ¥15,750/月

#### **Orange Bus (Shin-Urayasu route)**

バス停(浦安市): ベイモール、今川橋 ¥23,100/月

#### **スクールランチサービス**

**幼稚園サイズ¥493 / エレメンタリーサイズ ¥598 / セカンダリー サイズ¥651**

スクールランチのオーダーはオプションです。学校で用意されるランチはオーガニック、又はオーガニックに近い素材を使用した、栄養バランスのとれたものを提供しています。アレルギーやダイエット食等の特別食には対応することはできません。料金は1食ごとの税込価格です。スクールランチのオーダーと支払いは年3回(8月から12月分、1月から3月分、4月から6月分)です。週のどの曜日にオーダーするか選ぶこともできます。合計額は週何回ランチをオーダーするかによって異なります。

#### **教科書**

ミドル・イヤー・プログラム(G6 – 10)とディプロマ・プログラム(G11 – 12)では教科書が必要となります。各ご家庭に必要な教科書をご購入ください。お子さんが選んだ科目や年度によって、教科書と教科書の値段が変わることがあります。詳細は入学時にお知らせします。

#### **7.04: 授業料に含まれているその他のサービス**

クラス内の言語サポートと、放課後の言語ベースのコーカリキュラーアクティビティー(セクション 5.01 参照)以外に、以下のサービスが授業料に含まれます。これらは別途で請求されることはありません。

#### **ピフォースクールスーパービジョン(K1とK2のみ)**

K1とK2の授業は9:30amから始まりますが、始業時間前に学校に登校する必要があるお子さんには8:30amから9:30amまで監督付きでお預かりすることが可能です。特にお申し込みは必要なく、この時間内であればいつでもお子さんをお連れいただくことができます。

#### **アフターケア(K1からK3のみ)**

保護者の方の仕事その他の都合で、通常のスクール時間より長く学校にいたることが必要な生徒のために火曜日(ただし、スクールカレンダーにある短縮火曜日を除く)と木曜日の2:10pmから3:20pmまでアフターケアサービスがあります。時間延長はできません。このサービスを受けるには、別途申し込みが必要で、優先順位システムが適応されます。常にケアが必要なお子さんが優先されますが、空席があれば一時的な利用も可能です。空席があればこのサービスを申し込むことができます。お子さんを引き取る時間に遅れた場合は超過料金として1,000円をいただきますのでご注意ください。アフターケアサービス時間以降もケアが必要なご家庭には、放課後のLEAPプログラムの受講をお勧めいたします。LEAPプログラムは別途受講料をお支払いいただきます。

#### **カリキュラムを補うアクティビティー(クラブ活動)**

G1以上の生徒には、算数、理科、リーディング、ライティング、模擬国連、サッカー、バスケットボール、チェス、ダンス、クッキングなど、勉強やスポーツ、又は文化的なさまざまな活動を授業前と放課後に行っています。これらの活動は月曜、水曜、金曜の3:30pmから4:30pmまでですが、5:30pmまでのものもあります。4:30 p.m.にクラブを終了する生徒はスクールバスを利用できますが、5:30 p.m.にはスクールバスは運行されていません。人数に限りのあるアクティビティーもありますので、生徒が希望しているアクティビティーに参加することができない場合があります。アクティビティーによっては必要なアイテムを調達するために別途費用を頂戴するものもあります。

#### **7.05: 支払い遅滞のペナルティ**

全ての費用はそれぞれの請求書に記載してある期限内に支払わなくてはなりません。支払い期限を過ぎてしまった費用に関しては、2,000円の延滞料を請求させていただきます。支払いが遅れていることを学校に知らせなかった場合、その費用が支払われるまで、お子さんは授業に参加することができません。このようなことが続く場合、お子さんが続けて在学できるか検討される場合があります。また、その生徒の兄弟の入学にも影響がでる可能性があります。

## 7.06: 授業料の割引

KIST では、奨学金の授与や学費の支払いの援助をすることができませんが、いくつかの割引制度を設けています。

### 家族割引

学校に3人以上のお子さんを通わせている場合、30%の割引が適用されます。お子さんの一人は Grade 1 以上の学年に在籍していなくてはなりません。全ての生徒が ECE に在籍している場合は割引が適用されません。割引は3人目以上のお子さんの授業料のみとなります。スクールバスを含め、それ以外の費用の割引はございません。また、保護者の勤務先が学費を支払っている場合はこの割引は適用されません。

	K1 – Grade 5	Grade 6 – 10	Grade 11 – 12
年間授業料:	¥1,480,000	¥1,630,000	¥1,780,000
30%割引:	¥444,000	¥489,000	¥534,000
合計:	¥1,036,000	¥1,141,000	¥1,246,000

### 年間一括払いの割引

新年度の開始前に、一年分の授業料を一括してお支払いいただく場合は、1%の割引が受けられます。この割引制度は、年度途中の入学には適用されません。また、保護者の方がお支払いいただく場合のみ適用され、保護者の勤務先払いには、適用されません。上記の3人目のお子さんが授業料の割引を受けているご家庭は、この割引を受けることはできません。

	K1 – Grade 5	Grade 6 – 10	Grade 11 – 12
年間授業料:	¥1,480,000	¥1,630,000	¥1,780,000
1%割引:	¥14,800	¥16,300	¥17,800
合計:	¥1,465,200	¥1,613,700	¥1,762,200

### 再入学者特別金額

入学金および施設拡張費は当校への入学時のお支払いとなりますが、一度退校して再度入学した場合は、もう一度お支払いいただく必要があります。ただし、退校後3年以内に再入学される場合には減額措置があります(セクション 7.01 参照)。3年以上の場合は減額措置の対象にはなりません。

### 学期途中の入学と退校

学期途中の入学、退校の時期によっては、最初、又は最後の学期の授業料の減額制度があります。これは月割りで計算されます。新入生は入学日に関係なく、当校に入学した月初めからの分を全額支払わなくてはなりません。退校者は月割りで、在籍した最後の月までの授業料を支払わなくてはなりません。これらは授業料とスクールバス費用のみの減額制度です。その他費用やその他学校で提供されているサービスには4月から6月入学者の施設維持費が25,000円になる以外減額制度はございません。

## 7.07: 返金規定

入学検定料と入学金は返金することができません。仮入学審査で合格した後、試験の結果で不合格になってしまった場合は、入学金を返金します(セクション 4.04 参照)。それ以外はいかなる場合でも入学金を返金致しません。

セクション 7.01 にある授業料や諸費用(入学検定料と入学金は除く)は、初登校日前に入学辞退の連絡があった場合のみ払い戻し可能です。また、病気やその他個人的な理由により欠席した場合、および自然条件(天候や地震など)により学校が休校となった場合の費用の減額や免除はできません。スクールバスの利用を中止した場合で希望があれば、最後にバスに乗車した翌月分からのバス代を払い戻しいたします(セクション 7.02 参照)。スクールランチサービス費は年三回、全額を事前にお支払いいただきます。食材手配の都合上、一旦お支払いいただいたランチ代は返金できません。これは、欠席、遠足、キャンプ、休校、早退によってランチを食べられなかった場合や、期間内に退校された場合にもあてはまります。

制服や学校で購入した物品は、未着用未使用で包装も残っていて、購入後1週間以内のみ、返金または交換が可能です。ただし、一旦袋から取り出した長袖と半袖のボタンダウンシャツの返品および交換はできません。その他の費用はすべて払い戻しできません。

**費用と支払いについての詳細は KIST スクールハンドブックをご覧ください。**